推進計画の修正について

修正箇所	内容	修正前	修正後	主要な修正
はじめに	文章修正	・・・・揖保川と富島川の・・・	・・・・揖保川と、富島川の・・・	
<u>3行目</u> 0ページ	図修正		- 藤無山の追加 - 支川の追加 - 安富ダムの追加	0
1ページ	表修正			0
16ページ 7行目	文章修正	・・・・床下浸水1,577戸が発生	・・・・床下浸水1,577戸、全壊流出1戸が発生	0
16ページ 8~9行目		・・・・床下浸水408 戸の被害が発生	・・・・床下浸水408 戸、半壊185戸、全壊流出38戸 の被害が発生	0
16ページ 18ページ	表修正	末元川が氾濫	表1-4の被害額を修正	
28ページ		末元川が氾濫 排水機場は未完成で、・・・・・・	末元川(染河内川支川)が氾濫 排水機場は未完成のため、・・・・・・	
22行目				
28ページ 23行目		・・・2台のポンプが設置され、・・・	・・・2台のポンプ(6.3m3/s×2台)が設置され、・・・	0
28ページ 24行目	文章修正	平成9年にはポンプが1台増設された。	平成9年にはポンプ(6.3m3/s)が1台増設された。	0
28ページ 26行目	文章修正	今後計画の完成・・・	今後計画の完了・・・	
29ページ	図追加		富島川、大川の流域図	0
32ページ	表修正		表1-7に計画降雨を追加	
33ページ 33~34行目	文章修正	・・・、林業従事者の減少等により造林地の十分な	・・・、木材価格の低迷等により適正な管理が不十	0
33~3417日 35ページ	文章修正	<u>維持管理が行われず、・・・</u> ・・・、適宜見直すこととする。	分な山林が広がりつつあり、・・・ ・・・、適宜見直す。	
<u>15行目</u> 35ページ		・・・、本計画を見直すこととする。	・・・、本計画を見直す。	
<u>28行目</u> 35ページ	立音修正	・・・、一度浸水すると・・・・・	、一度破堤すると・・・・・	
37行目			、一及吸堤すると・・・・	
37ページ 21行目		また、大雨が・・・・・	また、県は大雨が・・・・	
37ページ 27行目	文章修正	・・・、本計画を見直すこととする。	・・・、本計画を見直す。	
2/11日 38ページ 6行目	文章修正	・・・、雨水貯留浸透機能を向上し、・・・・	・・、雨水貯留浸透機能を向上させ、・・・・	
40ページ 26~28行目	文章追加		※国が策定した揖保川水系河川整備計画は計画 期間:30年であるため、本推進計画では、揖保川 水系河川整備計画に記載されている対策の全て を記載している。なお、今後10年間で実施し得る 整備については、着実に進めていく。	0
42ページ 2~5行目	文章修正	国が・・・・としている(図4-1参照)。	削除	
21-51-1日 42ページ 3行目	文章修正	・・整備計画基本方針」・・・・	・・整備計画基本方針」(平成19年3月策定)・・・・	
51ページ 2行目	文章修正	・・・、異常洪水が想定される・・・・	・・・、異常な降雨が想定される・・・・	
51ページ 3行目	文章修正	・・・・洪水放流に利用する「事前放流」を・・・・	・・・洪水放流に利用するために、引原ダム事前放 流要綱(H25.6)に基づいて、「事前放流」を・・・・	
51ページ 7行目		1)事前放流容量	1)事前放流容量と実施基準	0
51ペ ー ジ 4行目	文章追加		貯水池の水位が標高464.0mを越え、引原ダムの流域内における24時間の雨量が255mmを超えると予想されるときに事前放流を実施する。	0
51ページ	文章、図 削除	2)事前放流実施フロー 「引原ダム操作規則」等・・・・・ 図4-26 現行引原ダムの操作手順	文章及び図を削除	
52ページ 6行目		・・・、貯留管や貯水槽など・・・・	・・・、雨水を貯める貯留管や貯水槽など・・・・	
53ページ 4行目	文章修正	・・・により浸水を発生させる・・・・	・・・により浸水被害を発生させる・・・・	
53ページ 5行目		・・・、その可能性を低減するために、・・・・	削除	
53ページ	表修正	表5-1 調整池数一覧	表5-1 既存の調整池数一覧	
56ページ 1行目		···の整備者と····	・・・の所有者と・・・・	
56ページ	図追加		県立大学の校庭貯留の事例を追加 福崎町の事例を追加	0
56ページ	表修正		学校敷地面積(太子町)を修正	
62ページ 10行目	文章修正 	・・・貯留機能を活用できる。・・・	・・・・貯留機能を活用できるので、・・・	
63ページ	表へ変更		計画地域での特徴的な取り組みを表形式へ変更	0

修正箇所	内容	修正前	修正後	主要な修正
65ページ	文章修正	・・・防止・軽減し、都市や農村を守っている。・・・	・・・防止・軽減することに役立っている。・・・	
3行目 65ページ	立音修正	 ・・・排水口に田んぼダムせき板を・・・	 ・・・排水口にせき板を・・・	
4行目		がからに出かるクムとと伝え		
65ページ	文章追加		このように、せき板により水田に貯留効果を持た	
<u>5~6行目</u> 65ページ	文章修正	 水田からの排水をせき板によって調整する等の水	せることを"田んぼダム"という。 田んぼダムの・・・	
10行目		田貯留の・・・		
65ページ 13行目	又草修止	・・・、営農に支障のない範囲内で水田貯留に取り組む。・・・	・・・、宮農に支障のない範囲内で田んはダムに取 り組む。・・・	
65ページ	文章修正	・・・、所有者は維持管理を図る。	・・・、所有者はその維持管理を図る。	
<u>17行目</u> 66ページ	図修正	 水田貯留の取組方法	 水田貯留(田んぽダム)の取り組み方法	
66ページ	図追加	小田町田の収租力法	【田んぼダムとは】を追加	0
66ページ	表へ変更		計画地域での特徴的な取り組みを表形式へ変更	
67ページ		・・・、地域でとりくめば・・・	・・・、地域全体でとりくめば・・・	
3行目 67ページ	立会校工	│ ・・・、良好な水循環型社会を創出するものである。	白れた水循環刑社会が創出できる	
5行目	人早 修止	・・・、良好な水循環型社会を創出するものである。 	・・・、良好な水循環型社会が創出できる。 	
67ページ	文章修正	このように、雨水貯留の取り組みは、・・・	このように、各戸貯留の取り組みは、・・・	
<u>8行目</u> 67ページ	表へ変更		 計画地域での特徴的な取り組みを表形式へ変更	
68ページ		 ・・・。また、落水が・・・	計画地域での特徴的な取り組みを表形式へ変更 ・・・・。また、緊急放流機能が備わったため池の落	
4行目			水が・・・	
68ページ	表へ変更	ム」ただこ 田康マは七如八つ	計画地域での特徴的な取り組みを表形式へ変更	
69ページ 6行目	又草修止	しかしながら、現状では大部分の・・・	しかし、大部分の・・・	
69ページ	文章修正	・・・操作を行わなくてはならない。	・・・・操作を行い、適切な・・・	
<u>15行目</u> 71ページ	→音 修正	管理者等は適切な・・・ 現在の大規模な土木工事が行えなかった時代か	 古来、先人達は高台に居住し、・・・	
//ヘーシ 2行目		ら、先人達は、住宅は高台に建築したり、連続堤	ロネ、元八達は同立に店住し、***	
		防ではなく、越流堤等を存置するなどして、・・・ ・・・農地等に遊水機能を持たせ、その地点や・・・		
71ページ 3行目	文章修正	・・・農地等に遊水機能を持たせ、その地点や・・・	・・・・農地等には遊水機能を持たせ、越流堤、霞堤といった工夫で、その地点や・・・	
311日 72ページ	表へ変更		計画地域での特徴的な取り組みを表形式へ変更	
73ページ	図追加		図5-17 森林整備及び保全の実施状況を追加	0
74ページ	立音修正	 5−7.山地防災土砂災害対策	 5−7.流木·土砂流出防止対策	
74~\	図追加		谷あい・・・・取り組んでいく。	0
0 .>			図5-18 計画地域の砂防堰堤(大榎川)を追加	
75ページ	図追加		図5-19 山地防災土砂災害対策の実施状況を追加	0
76ページ	文章修正	行政の・・・・・向上を図る。	削除	
<u>4~5行目</u> 76ページ	立音 依正	│ ・・・・見直しを図るとともに、市町に提供する。また、	 ・・・見直しをして、市町に提供する。県では、浸水	
76ペープ 7行目		浸水想定区域図を・・・	想定区域図を・・・	
76ページ	表へ変更	・・・・県民への周知に努める。	・・・・県民への周知に努めている。	
8行目 77ページ	表へ変更		 計画地域での特徴的な取り組みを表形式へ変更	
78ページ	表へ変更		計画地域での特徴的な取り組みを表形式へ変更	
79ページ	文章修正	・・・・生きることになることから、県民は、・・・	・・・・生きることになる。このため、県民は、・・・	
3行目	及び図移 動			
80ページ		・取り組む。 国は、	・・・取り組む。また、県は、市町に避難勧告等を発令するために必要となる情報配信を実施している (図 6 4参照)。 国は、・・・	
			図6-12を上記文章の下に移動	
81ページ	文章修正	・・・・通じて発信する・・・。	・・・・通じて発信している・・・。	
<u>5行目</u> 83ページ	立き 极工			
83ペーシ 2行目	人早10年	・・・・揖保川水系について、・・・	・・・・揖保川水系を、・・・	
83ページ	表追加	・・・はん濫注意情報、はん濫警戒情報、はん濫危	・・・「はん濫注意情報」、「はん濫警戒情報」、「は	
3~4行目		険情報、はん濫発生情報の4つがあり、・・・	ん濫危険情報」、「はん濫発生情報」の4つがあ り・・・	
83ページ	文章修正		「はん濫注意情報」、「はん濫警戒情報」、「はん濫 危険情報」、「はん濫発生情報」の説明を追加	0
84ページ	文章修正	・・・を支援する・・・	・・・・を支援している・・・	
<u>4行目</u> 85ページ 3行目	文章修正	・・・・を支援する・・・	・・・・を支援している・・・	
87ページ	文章修正	道路アンダーパス部(図 6-10参照)は、地形的に	道路アンダーパス部(図 6-10参照)は、地形的に	
2~5行目			雨水が集中しやすい構造であり、通常の場合はポンプ設備などにより集まった雨水を外部に排出している。しかし、近年多発する想定を超える豪雨に際しては、排水しきれずに道路アンダーパス部	

修正箇所	内容	修正前	修正後	主要な修正
89ページ	表内容の	12 — 11.	【計画地域での特徴的な取り組み】の内容を追加	
-	追加		Eth Ether Cos Is lead to the State of Cost of	
89ページ	表へ変更		計画地域での特徴的な取り組みを表形式へ変更	
90ページ	文章修正	・・・河川水位の予測、氾濫予測を・・・	・・・河川水位の予測や「氾濫予測システム」による	
3行目			氾濫予測を・・・	
90ページ	文章修正	「氾濫予測システム」は、気象庁の降雨予測データ		0
6行目	1	をもとに・・・・	において気象庁の降雨予測データをもとに・・・・	
91ページ	文章移動		※揖保川では水位予測情報は提供していない。	
<u>1行目</u> 91ページ	修正 文章修正		計画地域での特徴的な取り組みたま形式を本面	
	1 10 -		計画地域での特徴的な取り組みを表形式へ変更	
93ページ	表へ変更		計画地域での特徴的な取り組みを表形式へ変更	
94ページ	又草修正	・・・、浸水による被害の・・・	・・・、被害の・・・	
<u>2行目</u> 94ページ	主。亦声	+>に 十担性业実味には	+>に +担性巛字味にけ	
94ペーシ 6行目	衣へ変史	・・・・。さらに、大規模水害時には、・・・	・・・・。さらに、大規模災害時には、・・・	
95ページ	表へ変更		計画地域での特徴的な取り組みを表形式へ変更	
96ページ	表へ変更		計画地域での特徴的な取り組みを表形式へ変更	
97ページ	表へ変更		計画地域での特徴的な取り組みを表形式へ変更	
100~101	文章修正			
100~101 ページ	人早修止		7.環境の保全と創造への配慮という章を作成し、	0
102ページ	立音 修正	7-2. モデル施策の創設	8-4~8-8の項目を移動 8-2. モデル施策の推進	
11行目	人子沙山	7 2. 1 7 7 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	6 2. C 7 7 2 加泉 0 7 正正	
102ページ	表移動	・・・出前講座などの連携の「場」の提供・・・	・・・出前講座などの「連携の場」の提供・・・	
25行目	2(1) -33			
103ページ	文章修正		表8-9指定候補施設一覧(流域対策)を移動	
104ページ	章削除	8. 浸水状況の把握と今後の取り組み	9. モデル地区・モデル施策の推進	0
1行目				O
113ページ	文章追加		田んぼダムは、圃場整備済みの水田を対象に取	
15行目			り組みを進め、H35年度までに1,800ha※の実施を	
			目指す。	0
			※西播磨全域(揖保川流域圏・千種川流域圏)の	
			目標数値	
参-2ページ	表修正	···、H28年度までに600ha···	・・・、H35年度までに1.800ha・・・	
表4 県	-X19-1L	(TIES IX & CICOSONIA	(1100 12 th CTCT, DOOMA	
	表修正	・市民の防災意識向上のため、職員、消防防災救	・市民の防災意識向上のため、職員、消防防災救	
表13 姫路		急指導員等が公民館等に出向き、出前講座を実	急指導員等が公民館等に出向き、出前講座を実	
市		施。38回実施。	施。年間30回程度実施。	
参-12ページ		表 17 訓練に実施に関する取り組み一覧	表 17 訓練の実施に関する取り組み一覧	
表17	<u> </u>			